

綺麗な花が楽しみ

五郷小 児童ら花苗を植栽

熊野市は4日、五郷小学校(辻幸浩校長)で「小学校花いっぱい運動」を行い、全校児童12人が春を彩る花作りに励んだ。

同事業は「くまの花いっぱいネットワーク」の会員が小学校に出向いて、児童と植栽活動を行

たちは用意されたビオラと金魚草、ダイアンサスの計230株を30個のプランターに丁寧に植えた。

花は様々な色で間もなく見頃を迎え、今春の卒業式と入学式の会場を彩る。児童の一人は「きれいな花が咲くのが楽しみ」と話していた。同事業は15日に飛鳥小学校でも行われる。

い、学校花壇の充実や小学校と地域のつながりをつくることが目的。この日は同ネットワークから中島和代、松島弘子両副会長が五郷小を訪問した。

中島さんらは児童たちに花苗の植栽方法を教えた。子ども

くま

で餅まき

将、石田祐介、谷川清博、宇井広知、倭一之、久保勝裕、榎本典暁、倉本憲一、大谷雅樹、濱口英也、谷竜太、浜本敦史、杉下誠、西紀和、島田泰秀、山口哲生、西野孝幸、松平匡司、瀬古忠史。



【プランターに花苗を植える児童】